

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ノックスC
推奨用途 : コンクリート用型枠剥離
供給者の会社名称 : 株式会社ノックス
住所(本社) : 〒289-2131 千葉県匝瑳市みどり平12番1
緊急連絡先 : TEL 0479-73-6000 FAX 0479-73-5757
受付日時 : 月曜日～金曜日9:00～17:00
整理番号 : U-100

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分に該当しない
急性毒性(経皮) : 分類できない
急性毒性(吸入:蒸気) : 分類できない
皮膚腐食性/刺激性 : 区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分に該当しない
呼吸器感作性 : 分類できない
皮膚感作性 : 区分に該当しない
生殖細胞変異原性 : 区分に該当しない
発がん性 : 分類できない
生殖毒性 : 分類できない
標的臓器/全身毒性(単回暴露) : 分類できない
標的臓器/全身毒性(反復暴露) : 分類できない
誤えん有害性 : 分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性) : 区分に該当しない
水生環境有害性 長期(慢性) : 分類できない
オゾン層への有害性 : 分類できない

ラベル要素

絵表示 : 該当しない
注意喚起語 : 該当しない
危険有害性情報 : 該当しない
注意書き : 安全対策

- ・ 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- ・ 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- ・ 容器を密閉しておくこと。
- ・ 環境への放出を避けること。

応急措置

- ・ 火災の場合: 消火するために泡、二酸化炭素、粉末の消火器を使用すること。
- ・ 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・ 皮膚に付着した場合: 多量の水/石ケン水で洗うこと。

保管

- ・ 換気の良い場所で保管すること。

廃棄

- ・ 内容物/容器を廃棄物処理法(廃棄物及び清掃に関する法律)、及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 混合物

成分名	CAS No.	化審法番号	含有量(%)
鉱油	非公開	非公開	92～97
脂肪酸	非公開	非公開	非公開

注記: これらの値は製品規格値ではありません。

危険有害成分

労働安全衛生法

表示対象物物質 : 鉱油

通知対象物物質 : 鉱油

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪いときは医師に連絡する。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続ける。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに水または石鹸水で洗う。皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断/手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄する。気分が悪いときは医師に連絡する。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 二酸化炭素、泡、粉末
- 使ってはならない消火剤 : 棒状注水
- 特有の危険有害性 : 情報なし
- 特有の消火方法 : 火元への燃焼源を遮断する。火災周辺の設備などに散水し、火災延焼を防ぐ。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は風上から行い、適切な保護具(眼鏡、手袋、マスク)を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業の際は、必ず保護具(手袋、眼鏡)を着用する。
必要に応じた換気を確保する。
- 環境に対する注意 : 下水道や河川などに流出し、環境に影響を及ぼさないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 土砂等の不燃物にて囲い流出を阻止する。流出物は、出来るだけスコップなどで空容器に回収する。残留分は、土砂、おがくず、ウエス等に吸収させ回収する。
- 二次災害の防止策 : 熱、炎、スパークなどの着火源となるものを速やかに取り除く。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。
- 安全取扱注意事項 : 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざける。禁煙。
換気の良い場所で取り扱う。
屋内で取扱う場合、十分換気を行う。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。
- 接触回避 : 混触危険物質 「10.安定性及び反応性」に記載
- 衛生対策 : 取扱い後はよく手を洗う。
- 保管
- 技術的対策 : 容器を密閉して換気の良い場所で保管する。
静電気放電に対する予防措置を講ずる。
- 混触危険物質 : 「10.安定性及び反応性」に記載
- 適切な保管条件 : 直射日光を避け、冷暗所に保管する。高温物を近づけない。火気、熱温から遠ざける。
缶が錆びて内容物が漏出、又は噴出する恐れがある為、水回り等の湿気の高い所での保管しない。
- 包装容器材料 : 製品使用容器に準ずる。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度及び許容濃度 (ばく露限界値、生物学的指標) : 日本産業衛生学会 3mg/m³ (鉱油ミストとして)
ACGIH TWA 5mg/m³ (鉱油ミストとして)
設備対策 : 屋内作業の場合、ばく露しないような局所排気装置などを設ける。
取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設ける。
蒸気が滞留しないように排気装置などを設置する。

保護具

呼吸器用の保護具 : 必要に応じて防毒マスク(有機ガス用)を着用する。
手の保護具 : 耐油性の手袋を着用する。
眼の保護具 : 保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体への保護具 : 長袖作業着等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観 形状 : 液体
色 : 無色～淡黄色
臭い : 僅かな臭気
沸点 : データなし
引火点 : 135℃
発火点 : データなし
爆発下限界・上限界/可燃限界 : データなし
密度 : 0.87g/cm³ (15℃)
動粘度 : 17mm²/s (40℃)
溶解度 : 水に不溶
n-オクタノール/水分配係数 : データなし
分解温度 : データなし
粒子特性 : 適応外

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常取扱条件において安定である。
危険有害反応性の可能性 : 強酸化剤との接触は避ける。
避けるべき条件 : 裸火、火花はさける-禁煙。
高温面との接触は避ける。
混触危険物質 : 強酸化剤
危険有害な分解生成物 : 燃焼の際は、有害な一酸化炭素を発生する可能性がある。

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性(経口) : 混合物の分類方法に基づき分類した。 区分に該当しない
急性毒性(経皮) : 混合物としての有用な情報無し。
急性毒性(吸入) : 混合物としての有用な情報無し。

鉱油として(原料メーカーのSDS)

経口 ラット LD₅₀ 5,000mg/kg以上

経皮 ラット LD₅₀ 5,000mg/kg以上

吸入 ラット吸入(ミスト) LC₅₀(4h)=5mg/L以上

皮膚腐食性/刺激性 : 混合物の分類方法に基づき分類した。 区分に該当しない

鉱油として(原料メーカーのSDS)

ウサギを用いた試験において刺激は認められなかった。

長期又は繰り返し接触した場合には、皮膚脱脂による皮膚炎を起こす可能性がある。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 混合物の分類方法に基づき分類した。 区分に該当しない

鉱油として(原料メーカーのSDS)

ウサギを用いた試験において刺激は認められなかった。

呼吸器感受性 : 混合物としての有用な情報無し。

皮膚感受性 : 混合物の分類方法に基づき分類した。 区分に該当しない

鉱油として(原料メーカーのSDS)

モルモットを用いたビューラ法にて感受性は認められなかった。

(maximization testを含む)において、いずれも感受性なしとの結果が得られている。

生殖細胞変異原性 : 混合物の分類方法に基づき分類した。 区分に該当しない

鉱油として(原料メーカーのSDS)

Ames試験にて陰性との報告がある。

発がん性 : 混合物としての有用な情報無し。
 鉱油として(原料メーカーのSDS)
 IARCでは、高度精製油はグループ3(人に対する発がん性について分類できない)に分類され、ACGIHの提案もほぼ同様の分類と言える。
 生殖毒性 : 混合物としての有用な情報無し。
 鉱油として(原料メーカーのSDS) :
 ラットにおける生殖毒性試験において発育毒性及び生殖毒性は示さなかった。
 標的臓器/全身毒性(単回ばく露) 混合物としての有用な情報無し。
 鉱油として(原料メーカーのSDS) :
 急性試験による各種特定臓器への毒性は認められなかった。
 標的臓器/全身毒性(反復ばく露) 混合物としての有用な情報無し。
 鉱油として(原料メーカーのSDS) :
 経皮及び吸入による4週間から2年間の反復投与において、全身に対する影響は認められなかった。
 環境有害性 : 混合物としての有用な情報無し。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)	:	混合物の分類方法に基づき分類した。	区分に該当しない
鉱油として(原料メーカーのSDS)			
魚類(コイ科)		LL ₅₀ (96h) 1,100mg/L以上	
甲殻類(ミジンコ科)		EL ₅₀ /NOEL(48h) 10,000mg/L以上	
藻類(セテナストルム属)		NOEL 100mg/L以上	
水生環境有害性 長期(慢性)	:	混合物としての有用な情報無し。	
鉱油として(原料メーカーのSDS)			
魚類(コイ科、14日間)		NOEL 100mg/L以上	
甲殻類(ミジンコ科、21日間)		NOEL 10mg/L以上	
オゾン層への有害性	:	混合物としての有用な情報無し。	

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

汚染容器の廃棄 : 完全に内容物を除去すること。

14. 輸送上の注意

輸送の特定の安全対策	： 運搬に際しては、転倒や落下などの破損がないように輸送する。
国際規制	： 航空輸送はIATA及び海上輸送はIMDGの規則に従う。 国連分類・国連番号には該当しない。
国内規制	
陸上規制情報	： 消防法、道路法に従う
海上規制情報	： 船舶安全法の規制に従う。
航空規制情報	： 航空法の規制に従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法	:	名称等を表示すべき危険物及び有害物 鉱油 名称等を通知すべき危険物及び有害物 鉱油 リスクアセスメントを実施すべき危険有害物 鉱油
消防法	:	危険物第4類第3石油類 非水溶性 危険等級Ⅲ
水質汚濁防止法	:	鉱油類含有量 排水の許容限度 5mg/L
海洋汚染防止法	:	油分排出規制(原則禁止)

16. その他の情報

参考文献

- ・ 原料メーカーのSDS
- ・ 自社製品測定データ
- ・ 独立法人製品評価技術基盤機構 GHS情報
- ・ 厚生労働省 GHS対応モデルラベル・モデルSDS情報

記載内容について

記載内容の全ての資料や文献を調査したわけではないため、情報漏れがある可能性があります。また、新たな情報により改訂を行うため従来の内容と異なる場合があります。また、ここに記載された情報は、情報の完全さ・正確さを保証するものではありません。全ての化学品には未知の有害な可能性があるため、細心の注意を払いお取扱ください。